



データ解説書

※馬券モンスターでは、各データ(指数)を偏差値化し使用している。

印

システム印

しすてむじるし

各データ(指数)を総合して馬券モンスターが算出した馬印。

分析系

激走馬

げきそうば

過去の高配当レースを分析し得られた激走するさまざまな要素を数値化、順位付けをし、それぞれの激走条件にあった最適馬を選んだもの。

要するに、実力があるにも拘わらず、人気面では過小評価された馬(激走)を狙うというのが趣旨。

激印(☆)抽出の主ファクター

騎手、コース、枠順、馬装具、馬体、気配、上昇度、脚質、距離適性、クラス、情報等、世界的に見ても類をみない程の膨大なデータ&情報を基に分析している。

分析

極軸

ごくじく

JRDB奥野が、JRDBデータとゴールドジェネレーターアナライズ(通称GGA:JRDB提供のデータ分析ソフト)を用いてつくりあげた高回収率ベースの「お気に入り分析軸データ」。

能力系

IDM

あい・でいー・えむ

インデックスメモリーの略。JRDBが提供するスピード指数(能力指数)。当日の馬場差や天候などを勘案した走破タイムをベースに、競走内容、当日のデキなど、記憶の要素を加味して算出している。

過去に出力したIDMを元に、今回のIDMが出力される(IDM調整値という)。

IDMの算出式は、下記のように記すことができる。

IDM = ①素点 + ペース + ハンデ(斤量補正) + ②記憶要素

①素点 = (基準タイム-走破タイム) × 距離差 × 10 + 馬場差 + 基本値

②記憶要素 = 出遅 + 不利 + 位置取り + レース内容

能力系

IDM調整値

あい・でいー・えむ ちょうせいち

木曜日に出走メンバーが確定すると、IDM調整値が設定される。これは、近走のIDMを基にして、そのレースで該当馬がどれぐらいの能力を発揮できるのかを測る指針となる。一般的に、IDMと呼ばれるものは、IDM調整値をさす場合が多い。

○IDM = レース成績毎に算出されたもの

○IDM調整値 = 出走時に設定されるもの

調整項目

- 1.目安距離適性
- 2.芝・ダート適性
- 3.前走の馬体・気配・上昇度
- 4.馬具変更による上積み

分析系

騎手指数

きしゅしすう

基準オッズと騎手の連対率の関係を基に算出された指数。ベースは騎手期待連対率。

情報系

情報指数

じょうほうしすう

CID(コンディションインデックス)を基に、総合指数・IDM調整値に加算される形に変換された指数。

情報系

総合指数

そうごうしすう

前日情報総合。IDM、騎手指数、情報指数を合計した値。

分析

上昇度

じょうしょうど

パドック担当者が、近走と今回のデキから、上昇期待度として割り当てられたランク。「A」・「B」・「C」・「D」の4段階。「A」は、次走で上昇してくると思われる馬に付与される。「B」は平行線。「C」は下降。「D」はなんらかの不具合がある馬に付与される。

馬券モンスターでは、このランクを指数化して用いる。

情報系

人気指数

にんきしすう

オッズや人気算出のもとになる指数。
算出のベースとなるのが以下のファクター。

- (1)各専門紙の本紙やトラックマンの印とそれらの重み付け
- (2)騎手加点
- (3)近走成績加点
- (4)血統加点(新馬のみ)
- など

(1)は、各専門紙の本紙やトラックマンらの印を入力し、◎何点、○何点…といった形で合計ポイントを出す。
それに対して、専門紙本紙やトラックマンの人気度合いによって重み付けを設定。メジャーな専門紙の本紙にはポイントの比重を大きく設定。

また、トラックマンの場合、テレビに出演している等、知名度が高い人、あるいは、本紙級の存在感がある人の印にも、ポイントの比重を大きく設定している。

(2)は、人気の度合いによって加点。関東、関西、ローカル別に設定している。騎手の直近の実績によって頻繁に変化するため、随時見直している。

(3)は、近走の成績が比較的優れていて、字面的に印象を良く見せる馬に対して加点を行っている。

(4)は、新馬戦のみとなるが、良血で世間の注目度が高い馬に対しておこなう。G1ホースの全弟、半弟、全妹、半妹など。

情報系

調教指数

ちょうきょうしすう

東西の各専門情報紙の予想・評論家等が、担当の調教コースにおいてどれだけ正確に馬の状態を判断できているかをデータベース化し、それを元に、各専門情報紙の印を分析して算出した数値。

指数

厩舎指数

きゅうしゃしすう

東西の各専門情報紙の予想・評論家等と厩舎の密接度をデータベース化し、それを元に、各専門情報紙の印を分析して算出した数値。

数値が大きいほど、厩舎としての期待値が高い。

指数

調教矢印コード

ちょうきょうやじるしコード

調教から見た馬の調子を5段階評価したもの。

- ↑ …デキ抜群
- ／(右斜上) …上昇
- …平行線
- ＼(右斜下) …やや下降気味
- ↓ …デキ落ち

指標

厩舎評価コード

きゅうしゃひょうかコード

厩舎サイドの期待度をわかりやすく4段階評価したもの。

- ↑ …超強気
- ／(右斜上) …強気
- …現状維持
- ＼(右斜下) …弱気

馬券モンスターでは、この4段階評価を偏差値化し使用している。

分析系

騎手期待連対率

きしゅきたいれんたいりつ

騎手別に、基準オッズ範囲毎の連対成績を集計したものです。
騎手Aが単勝基準オッズBの馬に乗った場合の過去の成績を集計し、算出された連対率を騎手期待連対率としています。
新聞等の表記には、今走の基準オッズにおける騎手期待連対率が入ります。

騎手期待単勝率・騎手期待3着内率も同様の算出方法です。

分析系

激走指数

げきそうしすう

過去の高配当レースを分析し得られた激走するさまざまな要素を数値化し、それぞれの値を合計したもの。

激走指数算出の主ファクター

騎手、コース、枠順、馬装具、馬体、気配、上昇度、脚質、距離適性、クラス、情報等、世界的に見ても類をみない程の膨大なデータ&情報を基に分析している。

補足

JRDBの調教分析とは

JRDBでは、中間の調教情報をデータベース化し分析を行っている。

情報分析における調教指数は、「調教を見ているトラックマンの評価を分析する」といった間接的なものであるが、JRDBの調教分析は、直接的に「調教そのものを分析する」ものである。

調教分析は、大きく次の3つに分かれる。

☆各調教の分析

調教コース、強さ、状態等を分類し、調教タイムを指数化
⇒追切指数

☆中間調教の総合分析

前走、あるいは入厩後、レースに向けた複数の調教を総合的に評価

⇒調教量評価

⇒仕上指数

⇒調教パターンの分析

☆放牧先の分析

中間の放牧先と厩舎との関係を分析し指数化

⇒仕上指数

展開予想系

テン指数

てんしすう

先行力を測るための指数。

過去競走の前半3ハロンのタイムを枠順や馬場状態、出遅れ等を加味したうえで指数化したもの。これが実績値。

今走のテン指数は、各馬の過去走の実績値より、今走の枠順や予想馬場状態、相手関係を踏まえた上で計算される。

短距離戦や、先行有利な馬場状態のときは、このデータを重視したい。

展開予想系

ペース指数

ペーすしすう

過去の競走で、道中どれぐらいのペースで走ったかを示す。走破タイム-前半3ハロンのタイムを、道中の位置、不利、馬場状態を踏まえた上で算出。これが実績値となる。

今回のペース指数は、各馬の過去の実績値から、今回の枠順や予想馬場状態、相手関係等を踏まえた上で計算される。

中距離戦、流れが厳しくなりそうなG1、G2ではとくに、このデータを重視したい。

展開予想系

上がり指数

あがりしすう

過去の競走で、後半3ハロンをどれぐらいのタイムで走ったかを示す。

勝負所からの最後の脚が、出走メンバー中どれぐらい速いのかを測るのに役立つ。

今回の上がり指数は、各馬の過去の実績値から、今回の枠順や予想馬場状態、相手関係等を踏まえた上で計算される。

ペースが速くなりそうなレース、差し・追い込み馬の成績がよいレースでこそ、上がり指数を重要視したい。

展開予想系

位置指数

いちしすう

後3F地点での先頭との差を示す指数。

テン指数、ペース指数をもとに、勝負所(概ね残り3ハロン地点)において、先頭とどのぐらいの位置にいるかを算出し、指数化したもの。数値が高いほど、位置取りが前になる。

展開予想系

速度指数

そくどしすう

テン指数と上がり指数を足した数値。短距離戦でとくに重要となる。

展開予想系

展開指数

てんかいしすう

馬券モンスターによる展開指数とは、JRDBの展開予想ゴール順位を指数化したもの。

展開予想の計算で使用しているデータは以下のとおり。前日段階のほぼ全てのJRDBデータを駆使している。

・競走馬の特性

脚質、芝ダ適性、距離適性、重適性、馬具、特記、成長度、血統

・コース特性

コース形状、距離、馬場状態、馬場差、直線馬場差(内外の馬場の違い)

・騎手指数(非公開)

スタート巧拙、先行指数、ため指数、さばき指数、追い指数

展開予想ロジックとこれらのデータ、あるいは、想定されるレースペースをもとに、各馬の位置取りやゴール前順位を算出している。

ここで算出されたゴール前順位(着順と着差)を、馬券モンスターでは展開指数として扱っている。

分析

万券指数

まんけんしすう

激走指数をベースに穴得意の展開予想を加え、さらには人気となりがちな情報を減点し、万券に狙いを定めた分析をおこない算出した指数。

指数

追切指数

おいきりしすう

調教タイムを比較するためのデータとして追切指数を算出している。可能な限り標準化を行っている。

基準値を「条件クラス馬の一杯追い切り」としている。

馬場差補正

調教コース、調教日に毎の調教タイムのバラつきを補正している。

乗り役補正

乗り役が騎手の場合、助手の場合よりも速いタイムが出る。このように乗り役によって調教タイムの価値が異なるので、騎手、助手、調教師で分類し補正をかけている。

指数

仕上指数

しあがりしすう

仕上状態を表す指数。既に前走時点で仕上っている場合、調子を整えるだけで特に強い追切を行わないことが多い。追切指数がベースとなっている。

基準値を「条件クラス馬の力を出せる状態」としている。

放牧先補正

調教コース、調教日に毎の調教タイムのバラつきを補正している。

指標

仕上指数変化

しあがりしすうへんか

仕上がりの状態変化を表す指標。4段階で評価。
調教量が少ない、あるいは、弱い調教が続けば(=仕上指数が低い)評価は下がる。
逆に、調教量が増え、かつ、強い調教が続けば(仕上がり指数が高い)評価は上がる。

++	…かなり上昇
+	…上昇
なし	…現状維持
-	…下降

馬券モンスターでは、この4段階評価を偏差値化し使用している。

分析

CID調教素点

しーあいでいーちようきょうそてん

コンディションインデックス(CID)の元となる数値。専門情報紙の調教情報を分析し指数化したもの。

分析

CID厩舎素点

しーあいでいーきゅうしゃそてん

コンディションインデックス(CID)の元となる数値。専門情報紙の厩舎情報を分析し指数化したもの。

分析

CID素点

しーあいでいーそてん

CID調教素点とCID厩舎素点を合計した値に、状態変化を加え、算出したもの。これに競走条件による持ち点を加算したものがCIDとなる。

情報系

CID(コンディションインデックス)

こんでいしょんいんでつくす

他馬との状態・力関係を比較するための指数で、「CID素点」にレースクラスによる持ち点を加算したものがCIDです。

「CID素点」とは、現在の調教・厩舎指数を算出するデータベースを、さらに分析を行った結果からCID調教素点、CID厩舎素点を算出してその合算の割合に変化を加え、算出したもの。

分析

父馬産駒芝連対率

ちちうまさんくしばれんたいりつ

種牡馬産駒の芝の連対率を集計し指数化した値。

分析

父馬産駒ダ連対率

ちちうまさんくだーとれんたいりつ

種牡馬産駒のダートの連対率を集計し指数化した値。

分析

母父馬産駒芝連対率

ははちちうまさんくしばれんたいりつ

母父の芝の連対率を集計し指数化した値。

分析

母父馬産駒ダ連対率

ははちちうまさんくだーとれんたいりつ

母父のダートの連対率を集計し指数化した値。

分析

騎手距離単勝率・連対率・3着内率

騎手の該当距離における成績を指数化したもの。

分析

騎手トラック単勝率・連対率・3着内率

騎手の該当トラック(コース)における成績を指数化したもの。

分析

騎手調教師単勝率・連対率・3着内率

騎手の該当調教師における成績を指数化したもの。

分析

騎手馬主単勝率・連対率・3着内率

騎手の該当馬主における成績を指数化したもの。

分析

調教師馬主単勝率・連対率・3着内率

調教師の該当馬主における成績を指数化したもの。